

# 「浸種」と「種子消毒」は

特に ていねいに 確実に

長岡農業普及指導センター  
稲作情報（号外）

電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

- **今年のコシヒカリBL種子は、休眠が深い。**  
浸種は、水温 12°C 積算水温 120°C をめやすに。
- **効果の高い種子消毒で「ばか苗病」の発生を防ぐ。**

## コシヒカリBL・新之助の種子は休眠が深い — 浸種を確実にを行う

- ・今年のコシヒカリBLは昨年以上に休眠が深く、新之助も一昨年並に休眠が深いと推定されます。発芽ぞろいを良くするため、例年以上の注意が必要です。
- ・コシヒカリBLと新之助は、浸種水温を12°Cとします。
- ・コシヒカリBLは、浸種の積算水温を通常年より高い120°C、新之助は100°Cを目安とします。

	積算水温	
コシヒカリBL	---- 120°C (12°C×10日)	} が目安
新之助	----- 100°C (12°C×8~9日)	

- ・浸種初期に10°C未満の低水温になると、発芽ぞろいが悪くなります。  
今年は積雪が多く、春先の水温が低下していることも予想されます。  
浸種初期に低水温にしないよう、例年以上に注意が必要です。
- ・酸素不足にならないよう十分な水量を確保し、水の更新を適切に行いましょう。

## 「ばか苗病」の発生防止 — 温湯消毒では微生物農薬を併用する

- ・近年、ばか苗病の発生が多くなっています。
- ・ばか苗病は発病してしまうと薬剤で防除する方法がないので、「発病させない」ことが重要です。そのため、適確な種子消毒を行う必要があります。
- ・温湯消毒だけでは化学合成農薬による種子消毒に比べて防除効果が劣ります。  
必ず、微生物農薬と組み合わせた「体系処理」を行いましょう。
- ・プロクロラズ剤（商品名：スポルタック乳剤、スポルタックスターナSE）に耐性を示す「イネばか苗病菌」の発生が、県内で確認されました。  
種子消毒に化学合成農薬を用いる場合は、他の薬剤を使うようにしましょう。